



**大川上美良布神社
おなばれ保存会が表彰**

11月19日、高知県庁で第24回高知県文化環境功労者表彰の表彰式があり、大川上美良布神社おなばれ保存会が受賞しました。

大川上美良布神社おなばれ保存会は大川上美良布神社の御神幸の伝承を後継に伝えるとともに、見学者への積極的な広報に努めた功績が評価され、今回受賞することとなりました。

大川上美良布神社の御神幸は毎年11月3日に行われる祭礼で、行列が神社と御旅所を往復した後、数メートルの長さがある棒の先に鳥の毛を飾ったものを、落とさないように倒して社殿の鈴を鳴らしてから拝殿の床をなでるように左右に振ります。ダイナミックなこのクライマックスを見るため、香美市内外から多くの方が訪れます。



マーチングで火の用心

11月14日、バリューかがみので、土佐山田幼稚園の子どもたちがマーチングを行い、火災予防を呼びかけました。これは、秋季全国火災予防運動の一環で行われたものです。

園児の元気いっぱい力強い演奏に、集まった観客からは温かい拍手が送られました。火災の発生しやすい季節です。火の取り扱いには十分注意してください。

歴史の道百選に土佐塩の道

10月29日に文化庁の選定する歴史の道百選に土佐塩の道が追加選定されました。土佐塩の道は物部町と香南市赤岡町を結ぶ往還道で、古文書に残る記録と、道沿いに残る石造物が往時をしのばせる道となっています。ウォーキングなどを開催する一方で整備活動に尽力する土佐塩の道保存会の活動が評価され、今回の選定につながりました。県内では、土佐塩の道と土佐遍路道の2カ所が選ばれました。



▲土佐塩の道ウォーキング

四電が防犯灯13基を寄贈

10月28日、四国電力株式会社高知支店から香美市に対し、防犯灯13基を寄贈する目録が手渡されました。

同社は、毎年社会貢献を目的に行う『よんでんグループふれあい月間』の一環で、自治体へ防犯灯の寄贈を行っています。香美市に対しては平成4年から昨年までに、453基の防犯灯を寄贈いただいております。本年、新たに寄贈される13基の防犯灯は、香美市内の地区へそれぞれ設置されます。



▲四国電力(株)高知支店営業部高知営業提案センター長(左)から目録を受け取る今田副市長

寄宿舎で幻灯紙芝居

10月8日、山田特別支援学校寄宿舎で、生徒たちが防災に関する幻灯紙芝居を行いました。幻灯紙芝居とは、紙芝居をスクリーンに映し出して映画のように観るものです。

本年度の山田特別支援学校では『地域とつながる』をテーマに活動しており、今回の紙芝居には地域の方を中心に約40名の方が参加しました。

地域の方からは、「台詞の練習をたくさんしているのが分かりました」と感想も頂き、生徒たちも笑顔あふれるイベントとなりました。



▲寄宿舎で地域の方と幻灯紙芝居を観賞

県秋季少年剣道練成大会 3位入賞!



11月2日、須崎市立スポーツセンターで行われた高知県秋季少年剣道練成大会(第53回坂本龍馬先生顕彰剣道大会)で、香美市の之善館(写真左から 下村彪流・熊瀬泰仁・大和穂香・山中歩佳・島津春和・小南宗丸)が、団体戦3位入賞を果たしました。

本大会は、県内34チーム、総勢176名の団体戦のみの大会です。



火鎮祭相撲大会

10月20日、第62回物部町火鎮祭相撲大会が、大柁の八王子宮相撲場で開催され、14チーム41人が参加し、熱戦を繰り広げました。

この大会は、昭和32年に大柁地区で発生した大火災を教訓に、二度と火災を発生させないように祈願する目的で始められたものです。

大会結果

団体戦

優勝 南国警察署D
準優勝 171
3位 警察学校A

個人戦

優勝 須佐美亮太(南国警察署D)
準優勝 平 慎二(171)
3位 馬門辰美(森林管理署)
敢闘賞 寺田 潔(火災予防)
技能賞 片木大介(171)



民生委員・児童委員就退任式

12月6日、保健福祉センター香北で、民生委員・児童委員の就任式及び退任式が開催されました。

民生委員・児童委員107人、主任児童委員6人が委嘱を受けました。就任者を代表して土佐山田町杉田地区担当の山中博通さんが「地域の皆さんに寄り添い、関係機関と連携し、市民が安心して心豊かに暮らせる地域社会を目指し、その役割を果たしていきます」と決意を述べました。

各地区の民生委員・児童委員の名簿については、1月発行の香美市社協だよりNo.55をご覧ください。